

産婦人科学

責任者：産婦人科学講座 馬場 長 教授
スタッフ：産婦人科指導医

学習方針（実習概要等）：

産婦人科学は女性の生涯にわたる健康管理、あるいは女性特有の内科・外科的疾患を対象とする学問として対象が多岐にわたっている。周産期医学、婦人科腫瘍学、生殖医学、女性医学の4つの領域についての知識、思考、技能、態度の基本を実習を通して学ぶ。

教育成果（アウトカム）：

産婦人科疾患を有する患者に正しく対応し適切な検査を行うことで、正しい診断と治療法に到達する。本学の建学の精神「医療人たる前に、誠の人間たれ」を理解し知識・技能・態度、かつ所定の課程を修得した者に学士（医学）の学位を授与する。

（ディプロマポリシー：1,5,8）

到達目標（SBOs）：

- * 1. 女性性器、骨盤臓器の解剖を説明できる。
- 2. 外来で直接患者に対応し、診断上必要な主訴と現症の経過を把握し、記載できる。
- 3. 外来患者の問題点を整理し、考えられる疾患を列挙できる。
- * 4. 外来患者に必要な検査を例示し、簡単な検査を実施できる。
- * 5. 画像診断（超音波、CTやMRIなど）の価値と限界を理解し、代表的な画像を読影できる。
- 6. 妊娠管理、分娩管理、及び胎児管理を経験し、これに関する知識を説明できる。
- 7. 先天異常、遺伝について概説し、妊婦への対応を説明できる。
- 8. 出生児に起こる早期の異常症状を概説できる。
- 9. 帝王切開術を見学し、産科手術の手技を説明できる。
- 10. 母児同室の意義と注意点を説明できる。
- 11. コルポスコピー診、細胞診を見学し、所見や判定法を列挙し、これらの診断と病理組織診断との関係を述べることができる。
- * 12. 悪性腫瘍患者について、その管理と治療の概要を説明できる。
- 13. 悪性腫瘍の臨床進行期を表現できる。
- * 14. 手術を見学し、腫瘍の肉眼所見、病巣の拡がり、転移の有無、癒着の有無などの識別を経験し説明できる。
- 15. 癌の告知、予後不良な患者の管理及び終末期医療を説明できる。
- 16. 内分泌検査と診断について概説できる。
- 17. 不妊症の原因探究に必要な検査を理解し、治療法を概説できる。
- 18. 入院後に必要な検査及び治療計画を概説できる。

特に留意すべき注意事項：

1. 実習開始前の準備・特に予習について
2 週間の産婦人科の臨床実習に先立ち、第 1 週月曜日午前 9 時 00 分より実習のオリエンテーションが行われる。オリエンテーションは教育担当主任等が担当する。
 - (1) 次の各事項を予習し、実習に備える。
 - 1) 患者からの問診のとり方と記載の要領
 - 2) 産婦人科の診察法と記載事項
 - 3) 次の事項の基礎的知識を身につける。
 - ①女性性器の解剖、機能とその異常
 - ②性ホルモンの種類と作用の相関および代謝
 - ③重要な婦人科疾患の症状、診断法、治療法、予後
 - ④産婦人科で使用する主な薬剤、適応、副作用、禁忌
 - ⑤産科診断法、正常妊娠の経過と異常の場合の早期症状
 - ⑥産科手術、婦人科手術の適応と要約
 - 4) 検査データの読み方と判定
 - 5) 産婦人科患者の心理とその特徴
 - 6) 学外研修を行う各教育病院の特徴と特殊性。規程の順守。
2. 実習方法・実習ガイド
 - (1) 実習期間は 2 週間、第 1 週の第 1 日目は月曜日、午前 9 時 00 分に医局に集合し、実習のオリエンテーションに続いて、主治医（各自に割り当てられた症例の担当医）の指示により実習を開始する。実習第 2 週は分野を交換して実習を行う。（実習第 2 週には原則として症例は割り当てられない。）
 - (2) 実習は指導医、担当医のもとで次のように行う。
 - 1) 午前中は、外来で患者の問診を行い、これを整理、記録して、診察を見学する。また、模型により内診法を修得する。
 - 2) 患者への侵襲の少ない検査を行い（例：妊娠反応、膣分泌物検査、頸管粘液検査など）、自ら判定する。[水準 1]は実習期間中に修得できるようにする。
 - 3) 産婦人科的な特殊検査（例：HSG、コルポスコピィ、ラパロスコピィ、組織診、ヒステロスコピィ、超音波検査等）を見学し、その結果を判定できる。
 - 4) 午後は、入院患者の検査、治療を担当医について見学し、実習水準 1 に示したように、その一部は担当指導医と共にそれを実行する。
 - 5) 婦人科回診と産科回診に参加し、診断、治療について討議し系統講義および予習した知識を整理し充実させる。
 - 6) 原則として、毎週月曜日、火曜日、木曜日に手術が行われるので見学し、その概要を整理し記載する。第二助手として手術に参加することもある。
 - 7) 実習期間中の定められている日の 2 日間、グループに分かれて、県立中央病院、盛岡赤十字病院の 2 教育病院産婦人科において、学外実習を行う。

- 8) 金曜日午後 5 時からの臨床検討会では術前の患者の検討、術後の患者の報告、その他問題のある症例の検討が医局において行われるので全員参加する。
- (3) 臨床実習の終了に際し、実習第 1 週目に各自に割り当てられた症例について、一般的な症例報告の様式に沿ってレポートを作成し各指導医に提出する。また実習自己評価表を webclass 記入する。
3. 産科婦人科学の臨床実習においては、以下の点について注意を払うこと。
一定条件下で行う基本的医療行為の例示
- [水準 1]
- 指導医の指導・監督のもとに実施が許容されるもの。
- (1) 診察
- ・全身の視診・打診・触診・血圧測定
 - ・正常新生児の視診・触診・聴診・アプガー採点法の実施
- (2) 検査
- (生理学的検査)
- ・ Non Stress Test (NST)
 - ・ Cardio Tocho Graphy (CTG)
- (画像診断)
- ・超音波断層法(経腹的)
- (3) 治療
- (外科的業務)
- ・褥婦、術後患者の移送
- (外科的処置)
- ・手術(第二助手)
- (4) 救急
- ・バイタルサインチェック
- (5) その他
- (カルテ記載)
- ・問診の記載
 - ・患者の概要の記載
 - ・手術摘出物の記録

[水準 2]

状況によって指導医の指導・監督のもとに実施が許容されるもの。

- (1) 診察
- ・内診(双合診)
 - ・分娩進行度の診察(シミュレーション)
 - ・分娩後の産道の診察、腔鏡診
- (2) 検査
- (内視鏡検査)
- ・分娩監視装置
- (画像診断)
- ・超音波診断法

- (産婦人科特殊検査)
 - ・細胞診検体採取（子宮頸部）
- (3) 治療
 - (外科的処置)
 - ・縫合の第一助手
- (4) 救急
 - ・心マッサージ
- (5) その他
 - (カルテの記載)
 - ・現症の記載
 - ・実施する検査、処置の目的・方法の患者への説明
 - ・手術記録の記載
 - ・手術摘出物の取り扱い（組織標本の診断）

[水準 3]

原則として指導医の実施の介助または見学にとどめるもの。

- (1) 診察
 - ・産科救急の妊婦、褥婦の診察
 - ・新生児仮死の診察
- (2) 検査
 - ・子宮鏡
 - ・腹腔鏡
 - (放射線医学的検査)
 - ・子宮卵管造影法
 - ・骨盤内血管撮影法
 - (産婦人科特殊検査)
 - ・子宮頸部・子宮内膜の生検
- (3) 治療
 - (処置)
 - ・ドレーン処置
 - (注射)
 - ・動脈、静脈
 - ・（外科的処置）
 - ・遂娩手術、分娩介助
- (4) その他
 - (カルテの記載)
 - ・患者および家族への病状説明

事前学修内容および事前学修時間：

シラバスに記載されている各実習内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行い、医療面接・診察など基本的臨床技能実習で修得した手技について再確認をすること。また、実習前に e ポートフォリオ（WebClass）「日々の振り返り 今日の目標」にて、事前学修内容を踏まえた自己到達目標を設定し実習へ臨むこと。各実習に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。本内容は全実習に対して該当するものとする。なお、適宜 e ポートフォリオ（WebClass）を通し個人に対する実習のフィードバックを行う。実習では、医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容に留まらず、必要に応じて最新の医学研究成果を教示する。

第4・5学年臨床実習スケジュール[産婦人科学]

[第1週]

指導医師名：①馬場長教授 ②板持広明教授 ③熊谷仁特任教授 ④小山理恵准教授 ⑤庄子忠宏講師 ⑥千葉淳美講師
 ⑦利部正裕特任講師 ⑧尾上洋樹助教 ⑨岩動ちづ子助教 ⑩佐藤誠也助教 ⑪永沢崇幸助教 ⑫羽場徹助教 ⑬畑山伸弥助教
 ⑭佐々木由梨助教 ⑮池田真妃助教（任期付） ⑯苫米地英俊助教（任期付） ⑰寺田幸助教（任期付） ⑱川村花恵助教（任期付）
 ⑲深川安寿子助教（任期付） ⑳深川大輔助教（任期付）

| 曜 | 1 時限 | 2 時限 | 3 時限 | 4 時限 |
|---|--|---|--|--|
| 月 | オリエンテーション・試験 [場 所] [医局] [指導医] ⑨ | 手術実習又は病棟における症例検討 [外来・病棟] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰⑱⑲⑳ | 手術実習又は病棟における症例検討 [外来] [病棟] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰⑱⑲⑳ | 病棟における症例検討・症例検討会 [病棟・医局] ①②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯ ⑰⑱⑲⑳ |
| 火 | 外来・病棟実習又は手術実習 産科回診 カンファレンス [外来又は病棟] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰⑱⑲⑳ | 外来・病棟実習又は手術実習 [外来・病棟] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰⑱⑲⑳ | 手術実習又は病棟における症例検討 [病棟] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰⑱⑲⑳ | 手術実習又は病棟における症例検討 [病棟] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰⑱⑲⑳ |
| 水 | 外来・病棟実習 産科回診 [外来]又は[県立中央病院] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰⑱⑲⑳ | 外来・病棟実習 [外来・病棟]又は[県立中央病院] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰⑱⑲⑳ | 病棟における症例検討 [病棟]又は[県立中央病院] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰⑱⑲⑳ | 病棟における症例検討 [病棟]又は[県立中央病院] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰⑱⑲⑳ |
| 木 | 外来・病棟実習又は手術実習 産科回診 [外来・病棟]又は[盛岡赤十字病院] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰⑱⑲⑳ | 外来・病棟実習又は手術実習 [外来・病棟]又は[盛岡赤十字病院] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰⑱⑲⑳ | 手術実習又は病棟における症例検討 [外来・病棟]又は[盛岡赤十字病院] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰⑱⑲⑳ | 手術実習又は病棟における症例検討 [外来・病棟]又は[盛岡赤十字病院] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰⑱⑲⑳ |
| 金 | 外来実習 婦人科回診 産科回診 [外来] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫ ⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳ | 外来実習 [外来・病棟] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨ ⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳ | 病棟における症例検討 [病棟] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫ ⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳ | 婦人科回診・症例検討会 [病棟・医局]全指導医 ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰⑱⑲⑳ |

[第2週]

指導医師名：①馬場長教授 ②板持広明教授 ③熊谷仁特任教授 ④小山理恵准教授 ⑤庄子忠宏講師 ⑥千葉淳美講師
 ⑦利部正裕特任講師 ⑧尾上洋樹助教 ⑨岩動ちづ子助教 ⑩佐藤誠也助教 ⑪永沢崇幸助教 ⑫羽場巖助教 ⑬畑山伸弥助教
 ⑭佐々木由梨助教 ⑮池田真妃助教（任期付） ⑯苔米地英俊助教（任期付） ⑰寺田幸助教（任期付） ⑱川村花恵助教（任期付）
 ⑲深川安寿子助教（任期付） ⑳深川大輔助教（任期付）

| 曜 | 1 時限 | 2 時限 | 3 時限 | 4 時限 |
|---|--|--|--|--|
| 月 | 外来・病棟・手術実習 産科回診 [外来] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰⑱⑲⑳ | 外来・病棟・手術実習 [外来] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰⑱⑲⑳ | 手術実習又は病棟における症例検討 [病棟] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫ ⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳ | 病棟における症例検討・症例検討会 [病棟・医局] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰⑱⑲⑳ |
| 火 | 外来・病棟実習又は手術実習 産科回診 [外来・病棟] 又は[県立中央病院] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰⑱⑲⑳ | 外来・病棟実習又は手術実習 [外来・病棟] 又は[県立中央病院] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰⑱⑲⑳ | 手術実習又は病棟における症例検討 [病棟] 又は[県立中央病院] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰⑱⑲⑳ | 手術実習又は病棟における症例検討 [病棟] 又は[県立中央病院] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰⑱⑲⑳ |
| 水 | 外来・病棟実習 産科回診 [外来] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰⑱⑲⑳ | 講義 [医局] ③ | 講義 [医局] ② | 病棟における症例検討 [病棟] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰⑱⑲⑳ |
| 木 | 病棟・外来実習又は手術実習 産科回診 [外来・病棟] 又は[盛岡赤十字病院] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰⑱⑲⑳ | 病棟・外来実習又は手術実習 [外来・病棟] 又は[盛岡赤十字病院] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰⑱⑲⑳ | 手術実習又は病棟における症例検討 [病棟] 又は[盛岡赤十字病院] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰⑱⑲⑳ | 手術実習又は病棟における症例検討 [病棟] 又は[盛岡赤十字病院] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰⑱⑲⑳ |
| 金 | 外来・病棟実習 婦人科回診 産科回診 [外来] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰⑱⑲⑳ | 外来・病棟実習 [外来] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰⑱⑲⑳ | 産婦人科回診 [病棟] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰⑱⑲⑳ | 症例検討会 [病棟・医局] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰⑱⑲⑳ |

授業に使用する機械・器具と使用目的

| 使用区分 | 使用機器・器具等の名称 | 台数 | 使用目的 |
|--------|---------------------------------------|----|------------------------|
| 診断用機械 | コルポスコープ（膣拡大鏡） | 2台 | 子宮頸部の境界病変の診断、生検を用いる。 |
| 診断用機械 | ラパロスコープ（腹腔鏡） | 1台 | 子宮内膜症の局所所見 |
| 診断用機械 | ヒステロスコープ（子宮鏡） | 1台 | 子宮腔の病変の検査と診断を行う。 |
| 診断用機械 | 超音波断層装置 | 3台 | 骨盤内臓器の所見・病変の観察、診断に用いる。 |
| 診断用機械 | 胎児監視装置 | 3台 | 胎児心拍数の持続的記録による胎児機能診断 |
| 診断用機械 | 分娩監視装置 | 1台 | 分娩中の胎児心拍、陣痛の監視 |
| 実習用機械 | 胎盤、胎児の模型 | 2台 | 分娩機転、回旋の学習、胎盤位牽手術の修練 |
| 視聴覚用機械 | プレミアム超音波診断装置（S8） | 1台 | 臨床実習における症例検討 |
| 視聴覚用機械 | 顕微鏡用デジカメ表示用液晶モニター（L997-GY） | 一式 | 臨床実習における症例検討 |
| 視聴覚用機械 | ノートパソコン一式（VGN-FJ11BW） | 1台 | 臨床実習における症例検討 |
| 視聴覚用機械 | 制御解析用コンピューター（BIO-RAD） | 1台 | 臨床実習における症例検討 |
| その他 | キャノファックス（L860） | 1台 | 臨床実習における連絡・通信の目的 |
| 視聴覚用機械 | カラーレーザービームプリンタ（LBP5910） | 一式 | 臨床実習資料作成 |
| 視聴覚用機械 | デジタル一眼レフカメラ（D40レンズキット） | 一式 | 講義用手術写真撮影 |
| 視聴覚用機械 | 液晶テレビ（LC-32D10-B） | 1台 | ビデオ供覧 |
| 視聴覚用機械 | パソコン（VGN-FZ72B） | 1台 | 講義資料作成 |
| 視聴覚用機械 | パソコン（VGN-AR75UDB） | 1台 | 〃 |
| 視聴覚用機械 | プロジェクター（LV-7365） | 1台 | 臨床実習における症例検討 |
| 視聴覚用機械 | パソコン（バイオタイプ） | 1台 | 講義資料作成 |
| 視聴覚用機械 | パソコン（VGC-LM72DB） | 1台 | 〃 |
| 視聴覚用機械 | パソコン（VGN-NR72B） | 1台 | 〃 |
| 視聴覚用機械 | プリンター（PXB500） | 1台 | 講義用プリント作成 |
| 視聴覚用機械 | L型ディスク（DS23XQ-51） | 1台 | 〃 |
| 視聴覚用機械 | ノートパソコン MacBook（MK4N2JA（SSS）） | 1台 | 講義における症例検討 |
| 視聴覚用機械 | ノートパソコン（FMVS90WB） | 一式 | 〃 |
| 視聴覚用機械 | パーソナルドライブボックス（99992） | 一式 | 〃 |
| 視聴覚用機械 | ノートパソコン レッツノート（CF-RZ5CDDPR） | 一式 | 〃 |
| 診断用機械 | システム顕微鏡（CX41） | 一式 | 〃 |
| 視聴覚用機械 | ノートパソコン MacBook（512GB） | 一式 | 講義・臨床実習における症例検討 |
| 視聴覚用機械 | デジタル一眼レフカメラ（D750L2485KIT） | 一式 | 〃 |
| 視聴覚用機械 | レーザービームプリンタ Satera LBP9900C（LBP9900C） | 1台 | 講義における資料作成 |
| 視聴覚用機械 | ノートパソコン（FMVA90X） | 一式 | 講義における症例検討 |
| 視聴覚用機械 | i Mark マイクロプレートリーダー（1681130JA） | 一式 | 〃 |
| 視聴覚用機械 | ノートパソコン MacBook（MLHE2JA） | 1台 | 〃 |
| 視聴覚用機械 | ノートパソコン（PT67VGP-BJA） | 1台 | 〃 |
| 視聴覚用機械 | ノートパソコン（PCHZ550DABY） | 1台 | 〃 |

教科書・参考書等：

なし

成績評価方法

臨床実習評価は以下の項目について 100 点満点で評価する。

1. 知識：15 点
2. 態度：20 点
3. 技能：10 点
4. 問題解決能力：15 点
5. 技能試験：10 点
6. 指導医評価：10 点
7. ポートフォリオ：20 点